

法人名: 特定非営利活動法人三段峡-太田川流域研究会

## 活動予算書

2020年4月1日～2021年3月31日まで

(単位:円)

科 目		金 額	
<b>I 経常収益</b>			
1.	受取会費		
	正会員受取会費	210,000	
	賛助会員受取会費	400,000	610,000
2.	受取寄附金		
	一般寄附	70,000	
	目的限定寄附	3,500,000	3,570,000
3.	受取助成金		
	受取民間助成金	340,000	
	受取行政助成金	300,000	640,000
4.	事業収益		
		270,000	270,000
経常収益計			5,090,000
<b>II 経常費用</b>			
1.	事業費		
	(1)人件費		
	給与手当	2,473,200	
	(2)経費		
	法定福利費	30,000	
	1環境保全	560,000	
	2研究	40,000	
	3観光	90,000	
	4地域づくり	100,000	
	5人材育成	890,000	
	6情報発信・出版	30,000	
	7三段峡友の会	30,000	
	8エネルギー	10,000	
	事業費計		4,253,200
2.	管理費		
	(1)人件費		
	給与手当	274,800	
	(2)経費		
	法定福利費	420,000	
	その他	250,000	
	管理費計		944,800
3.	予備費		
		200,000	200,000
経常費用計			5,398,000
当期経常増減額			△ 308,000
税引前当期正味財産増減額			△ 308,000
法人税、住民税及び事業税			0
前期繰越正味財産額			3,706,056
次期繰越正味財産額			3,398,056

## 2021年度事業計画(案)

特例認定 NPO 法人三段峡一太田川流域研究会

### I 全体の方針

2021年度のテーマは「根を出す」とした。感染症の拡大や、風力発電建設で顕わになった課題は、わたしたちの活動に一層の深化の必要性を突き付けた。ひたすらに成長を求める社会から、調和により維持される社会への変化が急がれる。同時に三段峡開発で行政機関との食い違いは組織としての新しい立場への成長を促した。昨年度の反省として、安芸太田町長期総合計画に書かれた方針の進捗がなかった点がある。責任ある市民団体として行政機関と対等なパートナーシップ構築を目指すしたい。今年のさんけんは活動の内容は同じであっても、意識の上では一つ成熟した団体として新しい根を出す。

三段峡憲章の制定以来、三段峡の「本質的価値」が増強し続ける仕組みが回転をはじめ、今年度より三段峡アプリの配布が始まった。メディアの取り上げ方も自然資源の価値や体験と学びのフィールドとしての価値に注目され始めた。「太田川流域でつながる」流域思考の賛同が広まり、共同事業の兆しも複数生まれている。だからこそ取り組みはかえることなく、組織の一貫性を保つ点を留意して取り組みたい。

さんけんの活動は「しらべる、つたえる、つなげる」の方針に基づき、三段峡の本質的な価値を高める団体としての一貫性を堅持する。今年度より、新しい指標として「どれぐらい三段峡とかかわる人とつながれたか。どれぐらい三段峡とかかわる人増やしたか」の視点を取り入れてみたい。

### 取り組みの概要 (しらべる=リサーチ)/環境保全事業・研究事業

#### ①「三段峡野外博物館プロジェクト」

##### (目的)

三段峡の本質的な価値を向上させる活動で、組織の存在意義と言える。地域資源を調べ続け、いつでも活用できる状態を維持する。

##### (実施概要)

- ・一般公募をせずに、調査研究の目的を強くした「歩く会」の実施
- ・アーカイブ化への取り組みをする。
- ・河川の生き物、三段峡の植物、深入山の希少チョウ類の調査・保全の実施
- ・三段峡清掃活動
- ・三段峡の情報発信

##### (人材及び財政戦略)

外部人材:認定NPO法人西中国山地自然史研究会を中心に専門家の協力を得る。

内部人材:歩く会のマネジメント:本宮炎(テーマ設定、日程、講師)

アーカイブ指導:白川勝信

アーカイブ事業への参加:各理事

調査・保全:本宮炎、本宮宏美、さんけん会員

三段峡清掃活動:松尾俊孝さんけん会員



三段峡の情報発信/小林久哉

資金調達:講師謝礼/会費・寄付・町内のガイドへの有料での参加により資金を得る

清掃活動/三段峡同業組合委託費

(目指す成果)

最終アウトカム:三段峡や地域の資源の価値が向上を続けるループが構築される。

今年度のアウトプット:歩く会の最低回数6回

アーカイブ(グーグルマップ落とし込み)各理事が1テーマ以上

(活動予定表の事業番号)101、102、103、202、203、303、

## ②「旧派溪谷の逆襲プロジェクト」

(目的)

三段峡は2025年に名勝指定 100 周年を迎える。文化的研究を続ける中で、三段峡に限らず大正期に名勝指定された「溪谷」の価値の低下が明らかになった。名勝指定 100 周年を一つのターニングポイントに、改めて「溪谷」の文化的価値を問い直し、今後の 100 年に向けた文化的ブランディングの基盤をつくる。

(実施概要)

- ・「南峰と歩く」の書籍化の準備をする。
- ・名勝指定100周年記念事業の準備、帝釈峡との協力体制の構築の行政への働きかけ
- ・峡内の小径木の伐採(伐採に関して行政と相談をする)

(人材及び財政戦略)

内部人材:行政への働きかけ:本宮炎

連携が再開された場合の帝釈峡との関係構築:松尾敏孝

「南峰と歩く」書籍化/松尾俊孝 尾崎秀司

(目指す成果)

最終アウトカム:三段峡で南峰時代の文化が体験できる

今年度アウトプット:帝釈峡と連携が進み、来年度の協働事業が生まれる。

(活動予定表の事業番号)103、201、404、602、

## ③さんけん自然塾プロジェクト

(目的)

子供同士が学び合う自然塾の持続的な運営体制を構築する。学んだ子供が教える側に、教えた子供は地域の自然を守るフィールドワーカーになり、「地域の自然を守り、見つめる人材が育ち続ける」を目標にする。

(実施概要)

- ・さんけん自然塾の運営
- ・環境教育プログラムの実施

(人材及び財務戦略)

外部人材:フィールドの専門家、町内の母親、町内外の中学生、EPO ちゅうごくスタッフ、東京海上日動社員

内部人材:小学生部門/本宮炎、さんけん会員

幼児部門/本宮宏美、さんけん会員

環境教育プログラム/小林久哉、本宮炎、本宮宏美

資金調達:さんけん自然塾/GreenGift 地球元気プログラム助成金

## 環境教育プログラム/事業収入

(目指す成果)

最終アウトカム:地域のフィールドワーカーの育成

今年度アウトプット:自然塾実施回数 4 回×2部門

(活動予定表の事業番号)501、502、503

(つなげる=ファシリテーション)/地域づくり事業・友の会運営事業

### ④エコツーリズム推進プロジェクト

エコツーリズムの推進により、持続可能な地域観光の成立を目的とする。

(実施概要)

- ・エコツーリズム推進法の認定に向けた取り組みの実施
- ・地域の自然資源を活用したツアーの開発
- ・西中国山地サステナブルツーリズム推進協議会の運営

(人材及び財務戦略)

外部人材:無印良品広島ブロック、安芸太田町企画課

内部人材:エコツーリズム推進/本宮炎

ツアー開発/小林久哉

にしさす/本宮炎、小林久哉

資金調達:ツアー開発/事業収入

(目指す成果)

最終アウトカム:持続可能な観光の成立

今年度アウトプット:エコツーリズム推進のための会議の実施

(活動予定表の事業番号)301、302、303、403

### ⑤みんなでつくる流域社会プロジェクト(ネットワーク事業と地域づくり事業を統合)

ファシリテーションを活用した地域マネジメントの実施をし、地域内でのお互いを補い合う協力関係と地域外との連携を強め、豊かな流域社会の実現へ貢献する。

(実施概要)

- ・あきおおたの楽しい100人の実施
- ・ファシリテーションの活用と普及
- ・SDGsの推進
  - ・広島市内の事業者と協力したフードロス削減
  - ・地域の農家と協力した葦を活用した農業の試験
- ・市内の事業者と協力した三段峡正面口の活性化
- ・環境パートナーズひろしまへの参加
- ・風力発電の情報発信

(人材及び財務戦略)

外部人材:広瀬印刷、生原商店、環(めぐり)、あきおおたラジオ

内部人材:たのしい100人/本宮宏美

ファシリテーションの普及と活用/本宮宏美

SDGsの推進/本宮炎 さんけん会員

正面口の活性化/瀬尾淳

風力発電の情報発信/本宮宏美

資金調達:たのしい 100 人/参加費

SDGsの推進/広島県温暖化防止補助金(予定)

風力発電の情報発信/目的別寄付

(目指す成果)

最終アウトカム:さんけんがゲートウェイとなり、多様な主体が地域資源の活用を行う

今年度アウトプット:楽しい 100 人 6 回

(活動予定表の事業番号)401、402、404

### ⑥さんけん100年化計画(組織基盤強化)

さんけんが次世代に引き継げる組織となるために、ブランド力と組織基盤を強化する。

(実施概要)

- ・認定 NPO への申請
- ・さんけん新聞の発行、特集号の発行
- ・チラシ・WEB サイトの充実
- ・研修への参加

(人材及び財務戦略)

内部人材:さんけん新聞/尾崎秀司

広報・デザイン/本宮曜

資金調達:研修への参加/寄付・会費

(目指す成果)

最終アウトカム:次世代に渡せる組織になる

今年度アウトプット:認定 NPO への申請、研修3回以上

(活動予定表の事業番号)504、601、701、702、703

## II、事業別計画表<県提出書式>

### 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	事業費の予算額 (単位:千円)
1.環境保全事業	101「環境保全」 生態系の保全のための活動をする	5月～11月	三段峡 深入山	9人	太田川流域住民	520
	102「環境調査」 生態系保全のためのモニタリングをする	5月～11月	三段峡 深入山	9人	太田川流域住民	20



	103「環境整備」 生態系や景観保全のための補助路を整備する	5月～11月	三段峡 深入山	9人	太田川流域住民	20
2.研究事業	201「歴史・文化」 三段峡の歴史や文化の研究をする	通年	三段峡	5人	太田川流域住民	10
	202「植物」 歩く会などを実施し植物の調査・研究をする	4月～12月	三段峡 深入山 津浪	10人	太田川流域住民	10
	203「動物」 歩く会などを実施し昆虫等の調査・研究をする	5月～11月	三段峡 深入山	12人	太田川流域住民	20
3.観光事業	301「インタープリテーション」 さんけんツアーの開発やガイド育成を実施する。研修等に参加する。	4月～11月	三段峡 深入山	10人	太田川流域住民	30
	302「イベント・ツアー企画運営」 さんけんツアーやイベントの企画や実施を行う	4月～11月	三段峡	10人	太田川流域 事業者	30
	303「ビジターセンター」 三段峡交流館にてビジターセンター展示の素材を収集する	6月～3月	交流館	10人	センター来訪者	30
4.地域づくり事業	401「ファシリテーション事業」 「FMCア(みんなでまろく向上委員会)」の運営をし、地域活性化を話し合う	通年 月2回	筒賀社会 福祉協議 会会議室	3人	安芸太田町民	10
	402「事務局委託」 さんけんの目的に沿うプロジェクトの依頼を受託し実施する。「あきおおたの楽しい100人」	通年 2カ月に1回	安芸太田 町内	5人	安芸太田町民	50
	403「会議出席」 さんけんの目的に沿う会議への参加依頼を受託し出席する	随時	安芸太田 町内	5人	安芸太田町民	30
	404「地域連携」 地域内や都市と中山間地域の連携を促進する	通年 随時	安芸太田 町内	3人	全国	10
5.人材育成事業	501「教育プログラム開発」 自然体験学習・環境教育・ふる里学習のプログラムを開発する	通年	三段峡 深入山 龍頭峡	10人	安芸太田教育 機関	600



	502「安芸太田町教育機関等を対象とした教育プログラム実施」 町内の子供達への教育プログラムの実施	6月～11月	三段峡	5人	安芸太田子ども会 安芸太田中学校 筒賀小学校	30
	503「広島市内を中心とした教育機関等を対象とした教育プログラムの実施」 町外の子供達への教育プログラムの実施	7月～12月	三段峡 深入山 龍頭峡	17人	加計小学校 芸北小学校 志屋小学校	210
	504「研修への参加」 さんけんの組織強化および目的達成のための技能習得の為の研修への参加を行う	随時	広島市内等	10人	さんけんメンバー	50
6.情報発信及び出版事業	601「さんけん情報発信」 さんけん新聞・HP で情報発信する	通年	三段峡	6人	三段峡に関心のある人	30
	602「三段峡情報発信」 SNS などを活用して情報を発信をする					
7.友の会運営事業	701「会員サービス」 会員向け企画・会員特典などさんけんメンバーのためのサービス努める	通年	三段峡	10人	さんけんメンバー	10
	702「会員募集」 運用やさんけんの入会案内、会員獲得イベントなどを実施する	通年	三段峡	10人	全国民 太田川流域住民 三段峡に興味のある人	10
	703「寄附獲得」 さんけんに対する寄附獲得のための事業を実施する	通年	三段峡	10人	太田川流域住民	10
8.エネルギー事業	今年度実施予定なし			0人	太田川流域住民	10